

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	乳癌
治療法	ハーセプチン単独療法 (weekly)

抗癌剤・商品名	1 ハーセプチン	
規格	60mg 150mg	
一般名	トラスツズマブ	
一日投与量 (規定)	初回	4mg/kg
	2回目以降	2mg/kg
患者情報から算出した 一日投与量	初回	200 mg
	2回目以降	100 mg
実際の投与量	初回	200 mg
	2回目以降	100 mg
	初回	4 mg/kg
	2回目以降	2 mg/kg
投与日	day1	
1クール期間	7日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	HER2陽性乳癌
推奨 経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。経口制吐剤は推奨されません。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数: 50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●ハーセプチン</p> <p><b>重大</b> 1.心障害 2.Infusion reaction 3.間質性肺炎・肺障害 4.白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血 5.肝不全、黄疸、肝炎、肝障害 6.腎障害 7.昏睡、脳血管障害、脳浮腫 8.敗血症 9.腫瘍崩壊症候群</p> <p><b>その他</b> (10%以上) 悪心・嘔吐、発熱、悪寒、疲労 (2~10%未満) 頭痛、めまい、味覚異常、感覚鈍麻、ニューロパチー、下痢、食欲不振、口内炎、便秘、腹痛、呼吸困難、咳嗽、鼻出血、発疹、脱毛症、爪の障害、瘡痒症、倦怠感、関節痛、疼痛、浮腫、背部痛、無力症、筋肉痛、胸痛、末梢性浮腫、四肢痛</p>
備考	

# ハーセプチン単独療法 観察記録

所要時間:初回2時間 2回目以降1時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	<b>指示医師:</b> <b>ハーセプチン</b> (            mg ) 一般名(トラスツズマブ)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		初回 2時間かけて点滴【50mL/h】 2回目以降 1時間かけて点滴【100mL/h】	
		生食250mL+ハーセプチン	初回 90分かけて点滴【167mL/h】 2回目以降 30分かけて点滴【500mL/h】	
本体終了後除去				